

**大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果**

研究開発課題名:	高精度次世代 DNA 分析による品種・個体・産地・種識別技術の事業化検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	東北大学 大学院農学研究科 助教 松尾 歩

1. SCORE での活動目的

育成者の権利侵害や食品産地偽装などからブランド品種・産地を保護することを目指している。そのために、個人・民間・自治体・国などの幅広い分野の方々にヒアリングを行い、実証試験を通して、ニーズに即した DNA 分析サービスの提供が可能となるビジネスモデルを構築することを目的として活動を行った

2. 総合所見

事業化仮説を基に、消費者・農家・種苗メーカー・大学研究者などの幅広い顧客候補にヒアリングを実施して新品種の開発と病害虫の特定に高いニーズがあることを見出し、ビジネスモデルを構築した点を高く評価する。新会社も設立しており、今後の進展に期待する。

以上